

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、平成 28 年度の取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要等についてお知らせいたします。

1. 取締役会の実効性に関するアンケートの概要（集計、分析、評価の方法）

当社取締役会は、取締役会の実効性を分析・評価するために、第三者機関の知見を得ながら、自己評価として取締役会の全メンバー（取締役及び監査役）に対するアンケートを実施、当社取締役会の実効性について分析・評価を行いました。

【実施時期】平成 29 年 2 月～3 月

【回答者】取締役及び監査役全員（計 12 名、うち社外役員 5 名）

【内容】

方式：記名式によるアンケート方式

設問項目：取締役会の役割・機能、取締役会の規模・構成、取締役会の運営、監査機関との連携、経営陣とのコミュニケーション、株主・投資家との関係

回答・集計：第三者機関にてアンケート結果の回収・集計を実施

分析・評価：アンケート結果をもとに、取締役会にて取締役会の実効性についての分析と評価を行うとともに今後の課題について議論

2. 分析評価結果の概要

当社取締役会は、アンケートの分析結果及びそれに関する取締役会での審議に基づき、以下の点について、取締役会の役割期待を適切に果たし、その実効性が十分に確保できているものと分析・評価しております。

- (1) 取締役会と監査役会との連携体制は構築されている
- (2) 取締役会の規模・構成は適切である
- (3) 内部統制に関する運用状況の監督が適切になされている

一方、今後改善すべき事項として以下の点を挙げております。

- (1) 後継者計画についての議論の必要性
- (2) 取締役・監査役へのトレーニング機会の拡充

3. 今後の対応について

今回の分析評価結果につきましては、平成 29 年度取締役会の運営課題として対応していくと同時に、中長期的な課題については引続き議論していくことといたしました。

また、当社取締役会は、取締役会の更なる機能向上を図るべく、今後も継続的に自己評価を行っていく予定です。

以上